

吉野中央ふれあいセンターだより

「笑顔が広がる ふれあいの場」

いつも やさしさと愛情 感謝の心

皆さんお元気ですか

はや大暑を迎え、暑さもいっそう厳しくなつてまいりました。

さて、毎年この時期は地震、台風、集中豪雨による河川の氾濫、洪水や、自然災害等の多発するシーズンです。

皆さん備えはできていますか。

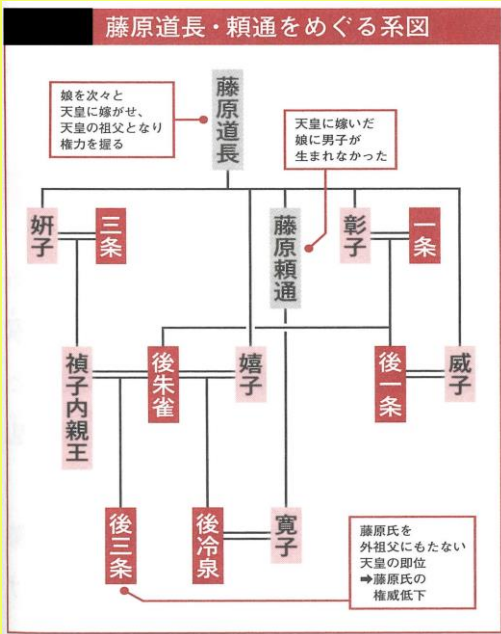
避難場所の確認、熱中症対策、コロナ予防等さまざまな対策をしなければなりません。いざという時のため、今一度確認をしておきましょう。



栄華をきわめた 藤原道長、頼通の時代

娘と孫に恵まれ権力を握った藤原道長

大河ドラマ「光る君へ」の中で、平安時代中期、藤原道長が絶大権力を持てたのは、天皇家に嫁いだ藤原道長の娘に次々と男子が生まれたからです。娘のうち、4人を天皇に嫁がせ、3人の天皇の祖父として背後から政治を支配したのです。



藤原頼通は権力を握ったが 娘と孫に恵まれず

藤原道長の子、藤原頼通は3人の天皇にわたって、約50年間も摂政・関白の位にありました。この藤原頼通が建てた有名な寺院建築に平等院鳳凰堂があります。

(中略)

藤原頼通は父の藤原道長と同じく、娘を天皇に嫁がせて権力固めを行おうとしますが、娘がなかなか生まれません。ようやく生まれた実の娘と養子にとった娘の2人を天皇に嫁がせますが、いずれも男子が生まれませんでした。そして、藤原頼通が政界から退くと、藤原氏の権力が急速に低下することになったのです。

浄土教の流行

(中略)

地方の政治は受領(すりょう)といわれた国司たちに「お任せ」になっていたため、私財を蓄えようとする国司たちは民衆に厳しい税を課すようになっており、また、都市部では盗賊が群れをなして乱暴をはたらくようになっていました。武士どうしの紛争が絶えず、さらに疫病などの流行も加わり、社会に不安が満ちていました。

そこにもう一つ不安をもたらす要素が民衆の間に広がります。それが「末法思想」という考え方です。仏教を始めたお釈迦様が亡くなって2000年間ののちに「末法」といわれる世の中がやってきて、釈迦の教えは正しく行われなくなり、世の中は乱れると信じられていたのです。そして、

その「末法」の元年がこの藤原頼通の時代にやってくると思われていました。

こうした思想を背景に民衆に広がった仏教が、この100年ほど前に空也という人物が都で広めていた「浄土教」です。この世の中が乱れ、どうせ「末法」の世の中になるのなら、せめて「あの世」で「極楽浄土」に行くこと(「往生」すること)を願おうという仏教です。極楽浄土に人々を導く阿彌陀仏が信仰の対象となり、「南無阿彌陀仏」という阿彌陀仏にすがるとの念仏を唱えることが民衆に広まりました。そして、浄土教は撰閲家をはじめとする貴族の中にも広まっていきました。

彼らは阿彌陀仏を安置するための阿彌陀堂を盛んに建設し、その代表が「平等院鳳凰堂」というわけなのです。

(歴史書より)

講座生募集

多数の参加お待ちしております♪

絵手紙教室

ハガキにしたための想い



日時 毎月第1・第4金曜日
午前10時00分～
講師 福田 信行 先生
※絵の具セットをお持ちください。

生花教室

世界に一つだけの花



日時 毎月第2・第4水曜日
午後7時00分～
講師 御室流
花垣 ちづ子 先生
※花材費1,000円が必要となります。